

で貢献を 春懇親会



で乾杯する広告
市一番町3丁目

子大学・松山東雲短期大学副学長
水代(▽)松山青年会議所理事長
塩出祐貴▽同専務理事 泉田光
▽愛媛経済研究会副代表幹事 林
光博▽新居浜・西条経済研究会代
表幹事 白石哲也▽今治経済研究
会会長 渡辺俊▽大洲・喜多経済
研究会副代表幹事 富永一隆▽八

田中浩彦(愛媛銀行行定千織(愛
媛経済レポート)高橋祐二、福井
琴樹(愛媛県商工会議所連合会)
田室和紀(河原純一、柳井利充(愛
媛県民球団)高橋俊輝(愛媛新聞
旅行)宮内隆、白石成人(愛媛C
ATV)八石玉秀(愛媛信用金庫)
越智建夫、相原重鎮、村井亮佑(愛

のひろみ、中井哲(タグラボタ
ト)松浦隆文、青野健也(中国四
国博覧会)木下勝好(中予自動車)
尾谷牧夫、二宮章暢、大野健、三
好元貴(テレビ愛媛)加藤修司、
久保清枝(電通西日本)佐渡祐収
(道後プリンスホテル)五味徹朗
(トヨタカローラ愛媛)長崎晃夫、

◆県中小企業家同友会が
1月例会の参加者募集 県
中小企業家同友会の支部の
1月例会がある。列会名は後

社長「倒産のどん底から復活でき
た力の源泉」『アントレプレナー
シップ』と「社会課題の解決」そ
して「同友会の存在が三本の矢」。
14日午後6時半〜9時、松山市朝
生田町5丁目のフリースペースジ
ョーナで、9日締め切り。参加
は無料だが懇親会は会費6千円。

【四国中央支部】パイの製造・
販売業のAkari(松山市)原
五万年社長「共」に創る未来
ビジョンが照らす多様性と成長の
道。22日午後6時半〜9時、オ

えひめ経済人



八幾井陽子取締役製造部長(53)

後と夢をお弁当に詰めて

前身の「協同組合新居
浜給食センター」時代か
ら産業給食が事業の主
軸。組合員の事業所に弁
当を届けている。組合員
減少などもあり、202
4年2月に株式会社化し
た。同時に従業員全員で
案を出し合い、社名も変
更。「ハッピーキッチン
」を略した「ハピック」
に、仕出し部門の屋号と
して親しまれていた「い
づつ」を組み合わせた。
弁当は新居浜、西条兩
市の事業所に1日当たり
4500〜5千食を届け
るほか、在宅の高齢者に
も提供。仕出しも扱って
おり、顧客の年齢層は幅

ハピックいづつ(新居浜市)

広い。
弁当の献立はマンネリ
化しないよう、管理栄養
士が季節感や流行も取り
入れて工夫する。これま
でも丼ものや夏場には冷
たい麺類をラインアップ
に加えていたが、24年の
組織変更に伴い、新たな
試みも始めた。
ベトナムのサンドイッ
チ「バインミー」や、ア
ルゼンチンの「チョリパ
ン」などのフェアを実施。
食品の安全面や弁当とい
う形態上難しい点もある
ものの、できる範囲で本
場の味に近づけている。
外国人の従業員も10人ほ
どおり、バインミーのレ

シビにはベトナム出身の
従業員のアドバイスを取
り入れ、生のレモングラ
スを調味料に入れて本格
的な味に仕上げた。予想
以上に数量が出て好評だ
った。現状は限定販売だ
が、お客さんに楽しんで
もらえるよう、新しいこ
とにどんどん挑戦するつ
もりだ。

効率的な製造や料理の
バランスに加え、近年は食
材費の高騰もあって献立
を考えるのは悩むが「お
いしかった」の声はうれ
しく、活力になっている。
安全面にも当然、気を
配っている。食品衛生管
理基準「HACCP(ハ
ンダリング) (聞き手・石川美咲)

献立工夫事業所に配達

【やきい・ようこ】1971年大阪府八尾市生まれ。島根県立島根女子短期
大卒。松山市の食品製造会社を経て2001年に入り、24年2月から現職。

【ハピックいづつ】1964年「協同組合新居浜給食センター」として設立。
2024年に株式会社化し、社名変更。新居浜市政枝町3丁目。従業員約100
人。23年度の売り上げは約6億1100万円。

地域経済

ELINE